

ロボットアイデアコンテスト アイデア一覧表(11~20)

No.	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
タイトル	オウム型お話しロボット	楽ラック	自動観葉植物育成機	ゴミ捨てアシスタントロボット	眠活くん	定規いらず	ランニングインストラクターロボット	ふとんはふつとばない	自動衝撃吸収マット	盲動ロボット
目的・狙い	話し相手になってくれるロボット。お年寄り、単身赴任者、ペット禁止マンションの住人、などが顧客	人が異動する際に自動で棚が移動して道を作る。必要な時に自分のそばに棚が移動して棚にあるものをとることができる。	コンセントにつなぐだけで簡単に観葉植物が育てられるロボット。	ゴミをゴミ箱に向かって投げて、入らなかったときでも入れてくれるロボット	寝つきの悪人、睡眠生活を強制したい人用。絵本の読み聞かせ(子供用)、ヒーリング音楽、好きな曲などを寝付くまで提供。起床時はベッドから球のように転がって遠くから大音量で起こす機能あり。	いかなるペンであっても精密な直線を引ける。ボタンを押せばよく、手の震えなどの影響がない	運動習慣の定着をサポート。一緒に走ることでモチベーション維持、ペース管理などを行う。	寝相の悪い人に掛け布団をかけたおすロボット	子供や高齢者が転倒した際に素早く床と体の間に入る機能を有する。食器の落下などにも対応できる。壁に手足をぶつけることも避けられる。	盲導犬や白杖なしで目的地まで誘導してくれる。障害物を教えてくれる。
ユニークさ 新規性・独自性	録音機能や、特定の言葉を話しかけることで声帯模写をしてくれる機能を有する。	棚自身が動くものはない。	必要な機能の一つにまとめて上級者に頼らない初級者にも扱いやすい製品	ゴミを投げ入れることはよくあり、外れるとストレスあり、それを救ってくれるのはユニーク	幅広い年齢層に対応。画面を持ち、顔文字で親しみやすく。USBで自分の好きな曲も。	ペン軸交換型	現在スマホアプリが存在するが、敢えてロボット形態にして「一緒に走る」を演出。	どんなに掛け布団が遠くても、必ず自分にかけなおしてくれる。	危険回避機能、デザインによっては癒し効果も	案内は音声、障害物は振動と音で知らせる
社会的価値 市場性	声帯模写機能により、孫や家族と会話しているように思えるなど、新たな価値。	家の中に物が多い人、家の中で動けない人、などニーズがある。	観葉植物はオフィスから家庭まで広くニーズあり。簡単育成で市場は拡大。	物書きの人、大部屋でゴミ箱が遠い環境にいる人などのニーズが期待できる。	健康睡眠に関心のある人が増えている。	ペンを握ることが出来さえすればよく、年齢などを問わない	スポーツインストラクターの不足、モチベーション維持の難しさを改善でき、ニーズはある。	体を冷やして風邪をひくなどのことを防いでくれる。	多くの場所で安全性向上が期待できる	視覚障がい者
開発の難易 実現可能性	Siri機能*1)、ボカロイド機能などの活用。	ラジコン制御、人感センサーなどの応用ができる。	部品としては既存のモノでほぼ賄えるはず。(機能をイメージ図に書き込み)	ゴミを感知できるセンサー、アーム、などを組み合わせる	睡眠確認センサーなどスマホアプリで実現できている。自動で転がる仕組みは難しいかもしれない。	サイズが小さいため各種の機構を搭載できるか、マーカ検出をどうするか課題がある。	セコム*2)のセコムロボットXの改善のイメージ	静穏な動きと人体検出が鍵。布団をかける際の重心取りが難しいかもしれない。	衝突の判別やセンサーをどうするか、大きくなると壁に沿えない可能性も。	車のバックセンサー、飛び出し検知センサーシステム、カーナビ、ワイヤレスイヤホンなどが活用できる
環境への優しさ	肌触りの良い毛並み、Washableな外装	駆動部とセンサー部分を既存の棚に取り付け。従来の棚を無駄にしない。	植物が増えることで空気清浄、室温、湿度などに良い効果がある。	大きな問題となる事項はない	ベッドから眠活君が落ちた時の振動を懸念。柔らかい素材で包む。	全体が小さく廃棄が容易	充電式バッテリー	必要部分以外は竹材、木材を使用。廃棄の際はその材料を再利用。	マット部分は綿、エア、ゲルなどが考えられ、環境配慮した材料を使う。	盲導犬の世話がいらぬ
上記以外の アピール点	(記載なし)	部屋の模様替えも簡単	自然のイメージを大事に機械感がないよう配慮	ゴミがきちんと箱に入ったら拍手の音が鳴る機能付き	特になし	特になし	ユーザーのヘルスデータ計測機能や、ペットボトル付き	就寝時以外は布団干しとして機能	(記載なし)	目的地までの大まかな案内はカーナビで、細かい障害物はセンサーで、イヤホンは片耳だけで。

* 1) Siri Siri(シリ)は、iOS向け秘書機能アプリケーションソフトウェア。自然言語処理を用いて、質問に答える、推薦、Webサービスの利用などを行う。「Siri」とは、Speech Interpretation and Recognition Interface(発話解析・認識インターフェース)の略。
* 2) <http://www.secom.co.jp/isl/research/ps/report01/>